北谷町白比川について

問　北谷町白比川について、地域住民は当初案どおり河川拡幅による防災事業を強く要請している。洪水被害から住民の安全と財産を守るのは県の責任で、防災事業の執行に当たっても防衛省や米軍に強く働きかけ、解決に向けての県の考えを伺う。

当間　土木建築部長　答弁

今年4月に発表された日米安全保障共同委員会の共同発表によれば、白比川河川改修に伴うキャンプ瑞慶覧の倉庫地区の一部が「手続後の速やかな返還が可能な区域」とされております。そのため、県としては防衛省による早期の施設の全面移転及び当該区域の速やかな返還の実現を行うよう要請していく考えであり、当初計画どおり河川拡幅による整備を行っていく。

H25.9.8

白比川・河川改修事業
来年度以降に着手

【北谷】台風時などの洪水被害が常態化している北谷町の白比川・河川改修事業が2014年度以降に実施できる見通しであることが7日、分かった。工事区域はキャンプ瑞慶覧内にあり、米軍との共同使用という形で工事に着手する。今月中旬の日米合同委員会で正式に決定する予定。

一帯は、ことし4月に発表された嘉手納より南の米軍施設・区域の返還・統合計画では19年度以降の返還が示されていたが、工事は返還に先立ち、実施できることになる。

小野寺防衛大臣・宮崎衆議院議員に現場説明。知事も現場視察を行い、五十年も河川の氾濫による被害を北谷町議の皆様から説明を受けた。

まだまだ！

横断歩道の整備（白線帯）について

村田　警察本部長　答弁

平成24年10月末現在で、距離約五百キロメートル、約一万千四百カ所が設置されています。

県警察といたしましては、今後も必要な予算の確保に努めながら、より効率的に補修を進めてまいりたいと考えております。

OK!

意外な一面

記者席

○…「車を運転していて横断歩道の舗装が薄くなっていることによく気が付く」と話す中川京貴県議（自民）。「地元の人はそこに横断歩道があることを知っていて渡ろうとするが、運転手には見えにくいのでひやひやする」と気をもみ、早期点検を求める。一方、子どもたちが横断しようとしていても、お構いなしの車も目につくそうで「減速、停止するのがマナーじゃないの」とドライバー側にも苦言。交通安全へ、こわもての優しい一面（？）をアピール。

H25.10.11　琉球新報

おゆずりエリア出入り口に設置

町道・水釜大木線に設置されたおゆずりエリア＝嘉手納町水釜・県営嘉手納高層住宅前

嘉手納　町水釜の県営嘉手納高層住宅出入り口に面する町道・水釜大木線にそのほど、「おゆずりエリア」が設置された。県営住宅の住民の出入りを円滑にするなどの町都市建設課は「地域への気配りをお願いしたい」と、前方の信号が赤になった際にスペースを空けるよう協力を求めている。

付近は1991年に読谷村の古堅や大木に通じる比川大橋が開通したことで、交通量が増え、明夕の出勤時間帯に渋滞が発生。高層住宅の住民からは「町道に出づらい」と改善策が求める声が上がっていた。同課の宇栄原孝課長は「通りは町外からの利用者も多く、皆さんに協力してもらいたい」と広く協力を呼び掛ける。信号の移設なども求め、署名活動を展開してきた同住宅の野原武自治会長は「団地から出られず、構内で車同士が連なることも多かった。これで交通がよくなれば」と期待した。

H24.5.30　沖縄タイムス

空手道会館について

問　空手道会館建設に向けた基本方針と今後の作業工程について伺いたい。空手関係者からの要望など各流派の皆さんとの協議はどうなっているか。

平田　文化観光スポーツ部長　答弁

沖縄伝統空手を独自の文化遺産として保存・継承・発展させるとともに、「空手の発祥地沖縄」を国内外に発信する拠点として整備することを基本方針としております。

H25.1.16
沖縄タイムス

県警察学校で空手導入
全国初　体力・精神力養う

県警察学校の授業に沖縄伝統空手が全国で初めて導入された。強靭な体力と強い精神力を養うのが狙い。県警発足40周年を機に、力

沖縄剛柔流空手道協会6段の与儀警部補（右端）から空手を習い、気力体力を養う初任科生ら＝15日、うるま市・県警察学校

リキュラムに組み入れるよう村田隆本部長が発案した。うるま市の同校で15日、初任科短期課程第51期23人の授業が公開された。

空手の授業は昨年12月から、週一回実施されている。全日本空手道選手権で2度準優勝した経験のある与儀実勝警部補（43）が指導。突き、けり、受けなどの基本や県が制定した普及形五段などを学ぶ。犯罪者とのときの間合いの取り方や逮捕術の技能向上など実践的な技を生かせる。他県と比べ、発生件数の多い公務執行妨害対策にも役立てたい考え。

初任科生らは、足の運び方や姿勢、呼吸法などを意識し練習に励んだ。東里剛さん（26）は「空手の格言である『先手なし』は警察官にとって大切。現場に出てからは培った精神力で安全を維持したい」と意気込んだ。山城加奈絵さん（25）は「体力と気力の両方を鍛え、守れるようになりたい」と語った。

H25.1.17　沖縄タイムス

県警の空手授業に共感

○…県警察学校の授業に、沖縄の伝統空手が導入されたことを喜ぶ中川京貴県議（自民、中頭郡区）。以前から県議会で「140万県民の生命と安全を守るため、逮捕術に空手の導入を」と訴えていたからだ。沖縄には米兵犯罪の発生や、全国と比較して公務執行妨害の件数が多いなどの特徴があり、警察官の護身の意義も大きいとみている。村田隆県警本部長が琉球空手をしていることも、判断を後押ししたのでは」と歓迎。自身も柔道とレスリングの経験者だけに、武道家として共感しきり。

沖縄県離島体験交流促進事業について

将来を担う子供たちが、児童生徒が、離島の重要性、特殊性及び魅力に対する認識を深めるとともに、沖縄本島と離島との交流促進により離島地域の活性化を図ることを目的。

謝花　企画部長　答弁

平成22年度は小学生百六十三人を5離島に、平成23年度は小学生五百五十八人を13離島に、平成24年度は小学生及び中学生千九百四人を16離島に派遣し、平成25年度は小学生及び中学生三千七十八人を18離島に派遣し、平成26年度は三千三百人66校、予算一億九千七百三十一万四千円の予定であります。

離島の子にも体験提案

H26.3.13　沖縄タイムス

○…県議会月定例会の代表質問で子どもの離島体験促進事業を絶賛した中川京貴県議（自民、中頭郡区）。本島の小学生を中心に離島に派遣し、離島ならではの魅力や問題を考える多つかはにするため2010年度からスタート。初年度は参加する校と少なかったが、評判の良さで翌年度は中合わせて44校約3千人が参加。離島活性化になる14年度に期待しつつ、離島の生徒に置場や美ら海水族館を体験させることも検討を」と鳥手納で育ち、父親は伊是名出身の立場から提案した。

OK!

農水産物流通支援について

問　農水産物の輸送コストを軽減する「農林水産物流通条件不利性解消事業」の14年度の対象品目について

山城　農林水産部長　答弁

肉用牛や豚などの畜産物、花、果樹などの追加を国に要望している。

結論

中川京貴の代表質問により離島体験交流促進事業が一億九千七百三十一万四千円に拡大された。

福祉行政について

問　子供医療費助成制度の自動償還払いと貸付制度の導入状況は？

崎山　福祉保健部長　答弁

自動償還払いは平成25年11月よりうるま市で始まった。平成26年4月から17市町村が導入を予定。貸付制度について医療機関へのアンケート調査を実施し、支払いが困難な世帯の実態を把握し、実施主体の市町村とともに制度の仕組みを検討したい。

問　貸付制度を導入すれば、国庫のペナルティーもありません。市町村は喜んで受けるだろうと思っております。窓口の支払いがなくなって、実質的には現物給付制度的な対応になると思うんですが、最後に知事いかがでしょうか。

仲井真知事　答弁

きちっと研究していい方向が見つかると思いますので、もう少し研究させてください。

結論

・中川京貴の一般質問により平成26年4月から自動償置払いが実施される。

・貸付制度導入により病院の窓口払いをなくす事は検討中。

こども医療費助成　貸付制度創設検討

県福祉保健部

県福祉保健部は12日、こども医療費助成事業に関連し医療費助成事業の窓口負担が困難な世帯を対象に、医療費の貸付制度の創設を検討していることを明らかにした。県議会11月定例会で崎山郎福祉保健部長が中川京貴氏（自民）の質問に答えた。

同助成事業は市町村が実施主体で、財源を県と市町村が折半している。県内市町村では、利用者が医療機関の窓口で医療費を立て替え、後日、市町村から助成を受ける方式。貸付制度は窓口での立て替えさえも困難な世帯への支援が狙い。

まだまだ！

H24.12.13　琉球新報

甘～いお菓子 待ち遠し

H25.6.19
沖縄タイムス

○…お菓子やパンの製造に必要な知識と能力を証明する「製菓衛生師試験」を、県が4月に前倒ししたことを喜ぶ中川京貴県議（自民、中頭郡区）。例年8月に実施していたが、受験者が年度末に専門学校を卒業してから5カ月後で、働きながら勉強を続ける負担が大きかった。中川氏はこの問題を担当する土木環境委員長として、与野党と調整し、県に検討を求めてきた。「県の決断に感謝したい」と評価しつつ、実はシュークリーム好きの甘党だけに、パティシエの卵が育つのは大歓迎？

H26.1.20　沖縄タイムス

製菓衛生師国家試験
抜群の合格率 県内トップ
問題演習など徹底

製菓衛生師科の学生たち＝専門学校大育NEWS棟

平成25年4月に施行された中成25年度製菓衛生師国家試験の合格発表が5月分付にあり、専門学校大育製菓衛生師科の合格率は93%となり、沖縄県全体の合格率が38%だった中、高い合格率を出す結果となった。

例年8月に実施された試験が今回から4月に変更となり、短い期間での試験対策となったが、過去問演習などの問題演習を徹底的に繰り返すことで本番に備えた。自己採点で、結果は予想で当たっていたが、実際の合格発表で関係者は一様に喜んだ。

製菓衛生師としてのスタートがここからはじまる学生たちの今後の活躍が期待される。

H24.11.29　沖縄タイムス

上司追及論 膝を打つ

○…米軍、日本政府と県内の実務者による会合で、米軍関係の事件・事故で司令官など上司の監督責任を問う声が沖縄側から挙がったことを喜ぶ中川京貴県議（自民、中頭郡区）。嘉手納町議時代から実効性ある再発防止策として「トカゲの尻尾切りではなく上司の責任追及を」と主張しており「やっと訴えが実現した」。果てしなく繰り返される米軍の事件に「議会の抗議決議はセレモニーではない。軍に緊張感を持たせるためにも上司の責任を問うことが重要だ」と、まさにわが意を得たり？

豚の恩返しを映画で

県議会土木環境委員会

H25.4.17　沖縄タイムス

○…「豚の恩返しを映画で」と訴える中川京貴県議（自民、中頭郡区）。終戦直後、食糧難の沖縄にハワイ在住の県人が約550頭の豚を送り、県内養豚の礎を「つくった事実を

ドキュメンタリーにして沖縄国際映画祭で上映してほしい」と提案する。

「豚を送ってくれたハワイの県人も立派だし、苦しい中でもすぐに食べず、繁殖させたり隣近所に配ったりしたウチナーンチュのまじめさにも感動する」と熱弁。県の新執行部との懇親会で新副知事、教育長に直訴するなど、本気度も高い？

エコ事業や陥没現場を視察
県議15人が宮古島を訪問

H24.9.4

自信満々も…

記者席

○…「日本も尖閣諸島の気象予想を始めるべきだ」と話すのは中川京貴県議（自民）。中国国内では同諸島の天気予報が出されていることを念頭に対抗措置を提案。「決断しないと中国に実効支配される」と危機感を募らせ、「日本の避難港を整備するべきだ」と強硬論も打ち出す。対抗措置でさらなる関係悪化も懸念されるが、「早く自民党政権を誕生させれば外交努力で解決できる」と根拠のない自信も満々。やっぱり県民の不安は拭えないかも？

H24.9.27　琉球新報

尖閣、竹島の天気予報を
領土啓発で自民提言

H25.12月

自民党の「領土に関する特命委員会」（額賀福志郎委員長）は17日、尖閣諸島、島根県・竹島、北方領土が自国領であるとの認識を国民に深めてもらうため、メディアを通じ周辺地域の天気予報を積極的に発信するよう政府に求めた提言をまとめた。

OK!

H25.6.27　琉球新報

平等な子育て環境を

嘉手納町議団　仲井真知事に要請

仲井真弘多知事（右）に認可外保育園を国の防音対策工事助成対象とするよう、国への働き掛けを求めた県認可外保育園連絡会の会員ら＝26日、県議会

まだまだ！

爆音から守る
認可外保育園
防音工事

県連絡会が知事要請

崎山　福祉保健部長　答弁

県としましては、全ての施設が対象となるよう、引き続き国に働きかけてまいります。

問　沖縄県認可外保育所の役員の皆さん方から同じ環境で同じ教育、生活をさせて頂きたいという要望がございました。

自由民主党の宮崎政久衆議院議員が国会で取り上げ、小野寺防衛大臣が是非認可外防音工事の実現に取り組みたいと答弁。沖縄県でも各市町村で取り上げています。今後の県の取り組みは？

認可外保育所防音工事について

H26.1.24　沖縄タイムス

医療費貸付制導入に熱

○…病院窓口で貸付制度の導入を提案している中川京貴県議（自民、中頭郡区）。中学3年までの医療費無料を導入する市町村が増えているが、親がいったん医療費を支払った後に役所で支払い分を受け取るケースがあるため「子育て世代にとっては一時的な支払いや役所への往復も負担になる。窓口で支払いをしないですむ貸付制度なら負担が解消される」と力説。すでに県議会で「所得の低い人から導入したい」との答弁を引き出しており「一刻も早くスタートを」と熱望している。

H24.12.15
琉球新報

議場で"必殺技"

記者席

○…子ども医療を一般質問で取り上げた中川京貴県議（自民）。利用者の負担を軽減する現物給付方式の採用を求めたが、導入すると市町村への国庫支出金が減額されるなどの課題が判明。諭めず、再度の質問で貸付制度の活用を提言し、前向きな答弁を引き出した。貸付制度の活用は議案研究を通して温めてきた「必殺技」だったと言い、「効き目があったなぁ」と笑顔。学生時代はレスリングで鳴らしただけに、独特の言い回しで手応えを語った。

OK!